

プログラム科目腫瘍内科

診療科長

田村孝雄

指導医

- 田村孝雄 教授
- 明石雄策 講師
- 岡部崇記 診療講師
- 高濱隆幸 助教 A

診療実績

診療疾患

- 胃がん、大腸がん、食道がん、膵がん、胆のうがん、胆管がん、肺がん、乳がん、頭頸部がん、肉腫、原発不明がんなど
-
- 各種固形がん(主に、薬物療法対象症例)

検査

- 気管支内視鏡検査、経皮、気管支内視鏡下針生検
- 上部・下部消化管内視鏡
- CTガイド下針生検、腹部超音波検査
- 胸腔、腹腔ドレナージ術
- 腰椎穿刺
- 骨髄穿刺

認定施設

- 地域がん診療連携拠点病院
- 日本臨床腫瘍学会認定研修施設
- 日本がん治療認定医機構認定研修施設
- がんゲノム医療連携病院
- 日本内科学会認定教育施設
- 日本呼吸器学会認定施設
- 日本消化器病学会認定施設

- 日本消化器内視鏡学会指導施設

専攻医臨床研修(腫瘍内科)カリキュラム概略

多彩な病態を持つ癌患者さんの診療を通じて、内科の基本診療技術を学ぶとともに、臨床腫瘍学の実際を体験できるようにプログラムしています。癌患者さんには一般内科臨床でも対応が要求される、胸水貯留、腹水貯留、感染症、腸閉塞、低栄養状態、痙攣などの多彩な症候の発生頻度が高く、多くの内科的治療や診断を短期間の内に経験することで実践的な内科診療に自信が持てるようになります。

また、肺炎、吐血、下血、心疾患、脳血管疾患、深部静脈血栓、肺塞栓、神経障害、精神症状などの合併も多く、癌に限らず内科の多領域の症例を効率的に経験することができます。

病棟研修では病棟にて挿管、中心静脈ルート確保、ポート付きカテーテル挿入、胸水ドレナージ、腹水ドレナージなどの基本手技を磨くことができます。

病棟受け持ち患者は原則として消化器癌1名、呼吸器癌1名、その他の癌1名、を指導医と共に受け持ち、化学療法、放射線治療、外科との手術適応についての協議等、癌の集学的治療の方法をマンツーマンで学ぶ。さらに終末期癌患者を指導医とともに受け持ち緩和ケアチームでのディスカッションに参加し終末期における病状説明法や症状緩和法、鎮静法、看取りの実際などを学ぶことができます。

外来研修では週1回専門医の外来診察に参加し、腫瘍診療における外来での診察法、病状説明のコツ、処置法、外来化学療法の実施の実際を学びます。

科長挨拶

当院は自然にあふれた生駒山麓の素晴らしい環境にある、518床の総合病院です。多くの学会の教育施設に認定されており、さまざまな認定医、専門医が取得可能です。大学病院として高度な医療を提供する役割を果たすために各科が協力してがんの診断・治療に当たっています。腫瘍内科は胃がん、大腸がん、食道がん、肺がん、乳がんなどの腫瘍学における中心的な疾患を単一の科で経験できる全国でも数少ない施設です。各癌種に対する標準的な薬物療法の施行はもちろん、癌にまつわる諸症状に対する治療など多くの事を学んでいただけたと思います。また将来どの科へ行っても必要な地域医療との連携にも力を入れており定期的に地域の先生方と一緒に勉強できる環境づくりにも協力しています。内科専攻医研修をはじめとして卒後10年くらいまでの腫瘍内科専門医を目指す医師の研修をこれまでの経歴や出身大学に関わらず随時受け入れておりますので研修を希望される先生は科長の田村までいつでもお電話下さい(電話番号 0743-77-0880)。化学療法って何か難しそうだな?とか、がん患者さんどのように接したらいいのだろう?とか漠然と考えているだけでも全然かまわないので一度見学に来られることをお勧めします。それぞれの先生方に合った研修をきつと提案することができると思います。

研修期間は専門医取得までを目安とし、待遇は原則として常勤スタッフとしての雇用になりますが、経歴によって相談に応じます。

奈良病院としての日常業務は本院の医局からは独立しており、腫瘍内科学講座医局への入局をせずに、専門医取得までの臨床研修に専念するスタイルで研修を受け、専門医取得後は各個人の希望する病院に就職することも可能です。さらに進んだ癌診療の研鑽を望まれる方は、近畿大学医学部腫瘍内科に入局していただくことにより大阪狭山市にある近畿大学医学部附属病院とも一体化した指導を受けることもできます。

研究面に関しては臨床研究を行っており、奈良病院での研究で近畿大学の学位取得も可能です。さらに大学院への進学を希望される場合には引き続き近畿大学の大学院への進学も可能です。研究等に必要な情報ツールとしては、近畿大学医学部本院と on line で結ばれており、本院の図書館の資料や電子ジャーナルをインターネットで奈良病院からも閲覧可能で、大学病院としてメリットを最大限に生かします。

腫瘍内科専門医カリキュラム概略

専攻医研修と平行して、もしくは内科専門医取得後に腫瘍内科専門医(がん薬物療法専門医)研修を受けることができます。

常勤職員の待遇で消化器癌、呼吸器癌、頭頸部癌、乳癌、ゲノム医療を中心に幅広い悪性腫瘍の治療経験を積むとともに治験や臨床研究の方法も学びます。研修者の腫瘍患者診療の経験と習熟度に合わせて初期研修医カリキュラムをベースに次第に一人で行える業務を増やしていき、最終的に腫瘍患者の診療を一人で行えることをめざします。定期的に学会に発表することで学会活動の経験を積むとともに臨床研究の方法を学びます。学会発表時の出張旅費、宿泊費、参加費は研究費より支給します。また、多くの研究会やWJOG、JCOG等の臨床研究グループの会議等の討議に参加する機会を提供します。ASCO等の海外学会へ参加できるよう指導します。

1年以上の研修を経て、さらに進んで大学院への進学を希望される場合には、狭山にある本院の近畿大学医学部腫瘍内科の大学院への進学をサポートします。また希望により交流のある他大学の大学院への進学もサポートします。

必要な期間連続して勤務していただいた先生は日本臨床腫瘍学会の専門医資格試験受験資格と日本がん治療認定医機構のがん治療認定医資格試験受験資格が得られます。専門医取得後は近畿大学医学部奈良病院や近畿大学医学部附属病院等の関連病院腫瘍内科へのスタッフとしての就職や留学をサポートします。

主な週間行事

- 月曜 16 時 腫瘍内科カンファレンス
- 火曜 8 時 30 分 抄読会・連絡会
- 火曜日 18 時 肝胆膵カンファレンス(消化器内科と合同)
- 水曜 17 時 30 分 頭頸部カンファレンス(耳鼻科と合同)

- 木曜 17 時 30 分 呼吸器腫瘍カンファレンス(呼吸器外科と合同)
- 金曜 16 時 消化器カンファレンス(消化器外科と合同)
- その他随時レクチャーがあります。

業務

1. 外来コマ数
 - 週 1 回
2. 入院受け持ち患者数
 - 3~7 人程度
3. 当直回数
 - 1~2 回/月程度
4. 外勤について
 - 希望により臨床的視野を広げたり地域医療機関への協力目的で他病院パート勤務週 1 回可能

取得可能資格等

- 日本内科学会専門医
- 日本がん治療認定医機構がん治療認定医
- 日本臨床腫瘍学会がん薬物療法専門医
- 日本呼吸器学会専門医
- 日本気管支内視鏡学会専門医
- 日本消化器内視鏡学会専門医
- 日本消化器病学会専門医

関連就職先

- 近畿大学病院(狭山)
- 岸和田市民病院
- 和泉市立病院
- 国立大阪南医療センター
- 大阪労災病院
- 大阪市立総合医療センター
- 国立がん研究センター中央病院
- 国立がん研究センター東病院
- 橋本市民病院
- りんくう総合医療センター

- 国家公務員共済組合連合会大手前病院
- 静岡県立静岡がんセンター
- 兵庫県立がんセンター
- 国立病院機構近畿中央胸部疾患センター
- 神戸大学医学部附属病院
- 愛仁会高槻病院
- 癌研有明病院

海外留学

- 米国 NIH 研究所、Vanderbilt 大学、ピッツバーグ大学研究所、START Center for Cancer Cure, Dana-Farber Cancer Institute, H Lee Moffitt Cancer Center&Research Institute などに派遣実績
- 米国のがん研究所、がんセンターを中心に留学可。